KOUNAN SMILE vol.27

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2018.12

働くとは？ 人は働くことで 幸せになれる―。 喜多川泰

１２月８日
忘年会
グランフォーレ

１２月２８日
健康診断
大掃除／木鶏会
お昼のお弁当は会社で用意します♪

【私たちは日々、遺産を生み出している―。】
あまりピンと来ないかもしれませんが、先日の喜多川さんの講演で聴いて深く考えさせられました。

私たちは、良くも悪くも**親の働き方というのを感じて生きてきている**と思います。今の時点では感じていなくても、親ぐらいの年齢ぐらいになったときに、思い起こすと思います。「休みの日はいつも遊んでくれてた記憶があるけど、仕事で疲れてたはずだよな～」「大変なこともあっただろうけど、家で愚痴を言ってるのなんか聞いたことなかったな～」とか。もちろん逆の姿もあるかもしれません。「家ではお酒飲んで当り散らしてたな。きっと仕事でストレスたまっていたんだろうな～」とか。

それは必ず**自分の働き方の柱**となり、壁にぶつかったとき、悩んだとき、父親ならどうしたかな、母親はこうしてたなと、**自分自身の働き方、生き方に影響していく**はずです。それが祖父母の働き方、生き方の人もいるかもしれません。それはつまり**親、祖父母が残してくれた遺産**だということなのです。

家庭の中だけでなく、会社の中でもそうです。先輩、上司の働く姿を見ながら、次の世代は働いています。つまり**今、働いている私たちは、次の世代に残す遺産を日々、生み出している**ということです。冒頭の言葉が少しピンと来てくれましたでしょうか。**日々生み出されている遺産が、会社の財産となるか、負の遺産となるか・・・。私たちの働き方次第というわけですね。**責任重大～！(笑)

自分の人生だからと言って、自分の生きている間だけを考えてはいけないということだと思います。自分ひとりで完結するレースであってはならないと思うのです。**前の世代からバトンを受け取り、受け継ぎ、次の世代にしっかりと送るリレー**でなければいけないと思います。

そうすることで、自分が退職した後も、**次の世代の中に、江南ラミネートの歴史の中に生き続ける**のだと思います。**「子どもの中に、親としてどれだけのモノを残せるか？会社の中で、次の世代の人のために何を残していけるか?」**そのためには、**どんなバトンを受け取っているのか**に気づかなければバトンを渡せませんね。自分を産み育ててくれた大阪の両親（まだまだ健在です･笑）そして愛媛の地で私を育ててくれている代表と奥さん。これまで何を大切に、どういう思いで月日を重ねて来たのか、まずは気づかなければいけません。まだまだ年齢を重ねないとわからないことかも多いと思います。今も代表と奥さんの深い愛を感じ感謝していますが、きっとまだまだわかっていない、もっと深い深い愛があるのだろうな～と思います。もちろん早く気がついて恩返しすることにこしたことはないのでしょうが、**気づいたときに、その愛、恩に感謝し、今度は次世代に引き継ぐべく「恩送り」をしていくことが大切**なのだと思います。

子どもが大きくなり、悩んだとき、壁にぶつかったとき「自分の母はいつも笑っていた人だったな。きっとたくさん苦労もあっただろうに。」と思い起し**「笑ってみる」という選択をしてくれた**のなら･･･。仕事に行き詰ったとき「先輩はどんな雑用でも前向きにしてたな」と思い起こし、いつもはイヤイヤしていた雑用を**「前向きにしてみる」という行動を選択してくれた**のなら･･･。

その人の中に生き続けている嬉しい瞬間ではないでしょうか。バトンを渡せたときなのではないでしょうか。

子どもに、次世代にどんな遺産を残したいか、、、先日社長が紹介してくれた「自分の弔辞で何と言って欲しいか」とつながりますね。**自分自身の働き方、自分だけのモノでないということを考え、**一日一日を生きていかなければと思います。

by きよこ

今月の主役！

毎月１人をランダムにピックアップ！
仲間のことをもっと知ろう！というコーナー

今月の主役は**高橋安美**さんです。
皆さんの知らないアレコレ、調査してきました！

高橋さんは「真面目で慎重だけど、いい加減な面もある。熱しやすく冷めやすい」性格です。高橋さんは自分のことをごくごく普通な人間だと思っているようですが、いつもなにかしら面白いことをして事務所に笑いの渦を巻き起こしてくれる存在です！
趣味はバーゲンで、お昼休みにチラシをチェックして仕事終わりに店を2、3件ハシゴするのが毎日のルーティンです。
休日は、予定がなければ少し寝坊して、一応掃除洗濯を終わらせる。その後録画している番組やドラマをみて買い物して夕食の準備をして一日を終えるそうです。ちなみに休日は買い物に出かけたら2時間は帰ってこないそうです。
そんな高橋さんの好きなものは「あんこ」、「あずきを使ったお菓子」です。嫌いなものは特に思いつかないけど強いていうならオバケが苦手だそうです。可愛いですね！

◆あなたの１０年前
10年前の高橋さんは49歳。子供が25歳と22歳で二人とも社会人になって親の手も離れてちょうど何も無い時期です。印象に残る出来事もないかなぁ～～。とのこと！

◆脳内パーセンテージ

会社愛がすごい！

◆前回の主役（大石さん)からの質問
Q、もしタイムスリップできるならどの時代にしますか？
A、10～15年後くらい。孫がどんな風に成長したか見たい

以上、高橋さんの調査結果でした！
次は誰が選ばれるか、お楽しみに♪

「カッツ社長がゆく」の巻

十一月十八日の早朝にボランティア活動で金生川の清掃をしてきました。市内の小、中、高校生、近隣の住民の方や企業の方、そして各種ボランティア団体の方など総勢三百名近く集まり、土手の草刈りやゴミ拾いなどを行いました。この数年、各小学校をまわり金生川やボランティア活動に関する授業してきて、日曜日の早朝にも関わらず多くの子供たちが参加してくれるようになりとても嬉しく思っています。

子供たちだけでなく大人の方々も多く参加していただいておりますが**【金生川をきれいにする気持ち】＝【自分の住んでいる街をきれいにする想い】＝【故郷を愛して誇りに思うという志】**を同じくする人たちが多く集まるその場所は、当日の秋晴れの天気のように空気が澄みきっていて、**プラス思考というか前向きな考え方をする人たちのエネルギーが集結していて、参加するだけで元気がもらえるパワースポットのような場所**でした。

「その場所が好きだから掃除をするんじゃないんだよ、掃除をしていくうちにだんだん愛着がわいてきてその場所が好きになるんだよ」とある方が言っていました。「ふむふむ、なるほど深い!!」確かに自分が毎日掃除をしている場所にゴミが落ちていたら嫌ですし、汚れていたらモヤモヤしますよ。**掃除をすることによってその場所に愛着ができたからそう感じるんですね。**そして毎日掃除を続けることによって、その愛着が自分の周りだけでなく、自分がいるフロア全体に広がり、自分がいる工場全体に広がり、そして会社全体に広がっていくのだと思います。

江南ラミネートのどの場所にゴミが落ちていても気持ちがモヤモヤしてきれいに片づけないと落ち着いて仕事ができない･･･私はこんな風に感じるので工場を歩いていて汚れているところを見るとついつい掃除してしまい、何か落ちているとついつい拾ってしまい、事務所に戻ってくるときには毎回手が黒く汚れてしまいます。逆にこんなに汚れているのに、こんなにホコリがたまっているのになんで平気で仕事が出来るのだろうかと不思議でなりません（笑）

みなさん自分の職場に愛着を持っていますか？まず**毎日毎日本気で掃除**をしてみませんか？**その場所が自分の場所、機械が自分の相棒と思えるくらいに本気で掃除をしたのなら、自然と会社に愛着がわき、考え方も行動も前向きになってくる**のではないでしょうか？　また自分の関係する場所だけじゃなく、金生川のようなみんなの場所を清掃することによって、愛着をもてる範囲が地域・市町村・都道府県・国・地球というように大きく広がっていくのだと思います。**自分の事だけ考えて生きるんじゃなく、自分の住んでいる街に愛着を持って生きることで、心も考え方も大きく広がり人生がより一層輝いて素敵なものになる**と思いますよ。おすすめです!!

克晴

１１月２６日－２７日 西精工㈱ベンチマーク

わが社の第２部隊として視察に行ってきてくれたのは堤さんと森田(啓)さん。噂の１時間朝礼のすごさはもちろんですが、人としての基本である話を聴く姿勢や工場見学のときの挨拶する姿など、いろんな面でたくさん衝撃＆刺激を受けてきてくれたようです。「まずは自分のできることから」と決意を示してくれた２人。そのはじめの一歩が大事ですね♫

11日「人は働くことで幸せになる」
喜多川泰　／　森田(啓)&清子 参加

24日「何のために」中村文昭、しもやん他　／　藤田&山川　参加
交通費、参加費など社長のプレゼントで行ってきました！ありがとうございます！私が言うのもなんですがそこまでしてくれる社長はなかなかいないと思いますよ！社長の「一人ひとりの人生が豊かになり幸せになってほしい」と願う気持ちが伝わってきますね。図書館にある本やお配りしている本も全て社長のプレゼントです。そしてこれからもいろいろな機会をプレゼントしてくれると思います(笑)ありがたいと思いチャンスを自分のものにしていくか、無関心でスルーしていくか･･。人生は自分の投じたものしか返ってこない！たくさん吸収していきましょう！

12日-13日 長野ベンチマーク ホテル岩の湯／伊那食品

みなさんも３名の仲間の熱いレポートを読み、人本経営は理想論ではないということを感じてくれたことと思います。そして実際に幸せに働いている社員がいる―江南ラミネートの社員のみなさんにも絶対に幸せになってもらうんだ！と私も改めて決意させられました。。。

１００年カレンダー

神野さん、山川さん、藤田さん

釣りクラブ

中川くんの釣った優勝の獲物を手に、満面の笑顔の大石くん！次は自分の魚で撮れるといいですね！
ん!?もしや今はやりの予祝を実践中!?(笑)

HAPPY BIRTHDAY

中川 文晶　12月2日　29歳
三鍋 隆志　12月4日　39歳
山下 怜志　12月4日　23歳
大西 輝尚　12月22日　55歳
古谷 祥全　12月27日　36歳